

## 平成 28 年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	佐賀県立伊万里農林高等学校		
2 所在地	伊万里市二里町大里乙 1414 番地		
3 校長名	青木 久生		
4 学級数 児童生徒数	9 学級 352 人	5 実施学年 児童生徒数	2 年 118 人

### 6 取組のねらい

ユニバーサルデザインとは、障害者や高齢者に限らず、全ての人が使いやすいように、製品、建物、空間をデザインすることに加え、心のやさしさや思いやりを培い、誰もが共に生きるための心の育成をめざすものであることを理解させる。今回は、ユニバーサルデザインが身近な日常生活の中に存在していることを意識させるとともに、私たちが普段何気なく生活している中で、何らかの不便さを感じている人もいることを認識し、よりよく快適に活動するために必要な、生活者としての視点を身につけられるよう取り組んだ。

### 7 取組の実際

○ユニバーサルデザインの理念について学習し、身の回りにあるユニバーサルデザインの製品や、建物、空間デザインについて調べ学習を行い理解を深めた。



○ユニバーサルデザインのアイデア作品づくりに取り組み、作品コンテストに応募した。「あったら便利だな」という生活者の視点でアイデアを出し合い、普段の生活でどんな不便さを感じている

か、どのようにすれば解決できるかということを考えて取り組み、発表会を行った。

○コンテストで入賞したアイデア作品を形にしたいと思い、生活文化部の生徒で小物を製作した。最初はイメージを忠実に再現してみたが、試行錯誤しているうちにシンプルなデザインの方が使いやすいことが分かった。



### 8 取組の成果と課題

自分たちの周りの生活用品や住空間のユニバーサルデザインについて考える良い機会となった。また、普段何気なく活動している中で、不便さを感じて過ごしている人がいることを再認識することによって、全ての人が満足できる生活環境を整えることの重要性を学んだ。

今回の取組では、どのようにしたら不便さを解決できるかをイメージし、アイデアを形にすることで、誰でもが使いやすいもの、使ってみたくなるものづくりを通してユニバーサルデザイン7原則の理解がより深まったと感じた。今後もユニバーサルデザイン教育の推進を図り、継続して取り組んでいきたい。